



畑の面積 : 0,82 ha
 Age of the vines : 40 years old
 Average annual production : 4 000 bottles
 Grape variety : Pinot Noir

Localisation :

この畑の名前は「シャイユ」（小石）に由来している。畑はニュイの町より南側、扇状の沖積地にあり、石がとても多い。表土は粘土質で石灰が少なく、シャイユや珪素が豊かに存在する。また、赤みがかった一種のシレックス（火打石）がところどころに見られる。

この土壌の性質はとても変わっているので、単独でキュベを造ることを試みた。こうして出来たワインは素晴らしいミネラル感をもち、一つのフルーツを思わせる非常にピュアな芳香を放つ。また、しっかりとした酸と強いコシを持ちあわせるため、長期熟成の潜在能力を豊かに感じさせるワインである。

2013年はまたしてもブルゴーニュのヴィンニュロンたちに手厳しい試練を与える年となりました。

醸造所に健康なブドウを持ち帰るためには、シーズン中、ベト病とウドンコ病との熾烈な戦いを強いられましたのです。

5月という季節を迎えても月間通じて寒々とした雨に見舞われ、そのことが大きく起因して収穫が遅れました。私たちのドメーンでは10月6日にヴォーヌ・ロマネの畑からブドウを摘み始め、17日にオート・コートで終えました。この年より遅い収穫年といえ、1978年まで記憶を遡らなければなりません。

開花後期の天候の崩れが原因で花振るいが多く見られ、殆ど全ての房がミルランダージュとなって小さな粒を纏いました。そのため、平年と比べ収量は30~40パーセント落ち込みました。

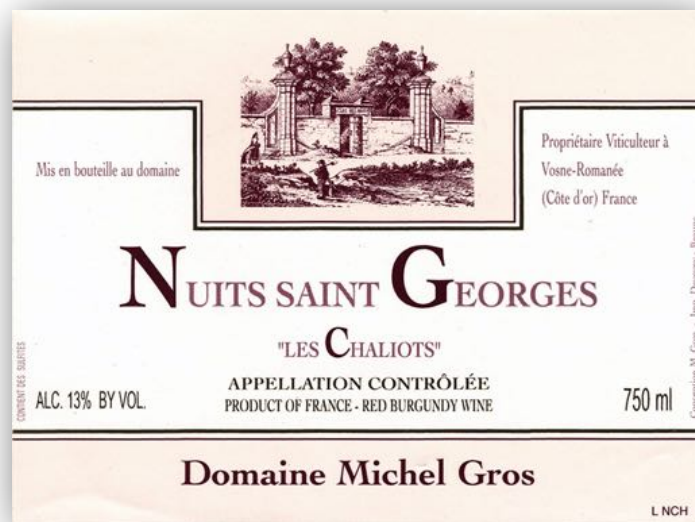
しかし、このミルランダージュこそがヴィンテージを救うことになったのです。

7月に暑い日が差した以外はパツとしなかった夏の不順な天候下でも、負担の少ない小ぶりのブドウ房はパーフェクトに熟してってくれました。

粒が小さく隙間があるミルランダージュの房でなければ、収穫前に続いた数日の雷雨でボトリティス菌が蔓延し、やっと目の前にした収穫物が壊滅していたかもしれません。

そして、果汁の少ないミルランダージュだからこそ実現した濃い色。結実不良により種が無かったり種のサイズが小さかったりすることが幸いした、タンニンの突出しないバランスがとれた自然の凝縮。

成熟が遅れ、比較的冷涼な気象状況のもとでブドウが熟成の最終段階を遂げた為、誕生したワインは濃いフルーツのアロマを丸ごとフレッシュに蓄え、夫々のテロワールの個性をくっきりと描いています。



酸のレベルが高いことはワインの長熟性を示し、一方、低いpHで証明されたこの高い酸味は、タンニンがすでに溶け込んでいるリッチなテクスチャに抱擁され、テイasting上ではさほど目立たないのです。

結果として、2013年のワインはすでに誘惑的な魅力を呈し、ハーモニー、バランス、鮮烈な強さと緻密なアロマを持ち合わせています。ポテンシャルが高く、言うなれば1993年に類似する特徴があり、1993年といえど今日飲んでもなお素晴らしい有望なヴィンテージなのです。

プレスレビュー

Sarah Marsh, Winter 2014, The Burgundy Briefing N° 16

The cuvée of parcels on the Vosne side. This smells peppery; smooth onto the palate; an elegant village NSG; Full-ish in the middle with plenty of dark fruit, black cherry in the mid palate....quite aromatic on the finish with just a little fresh, sappy lift at the end. It works well. Score 16.

Jancis Robinson, January 10, 2015

Strawberry tart and some light herbal notes. Dry, fine-grained tannin and moderate length to the fruit. Very enjoyable though not hugely complex. Score 16,5/20

Allen Meadows, 15/01/2015, Issue 57

Pungent aromas of wood and strong reduction block a reasonable assessment of the nose. By contrast there is good freshness to the muscular, suave and very round medium-bodied flavors that possess a succulent mouth feel, partially thanks to the ripe tannins. There is excellent complexity and length on the balanced, delicious and generous finale. This is a very fine Nuits villages and well worth checking out. ♥

今飲んで 89+ ポテンシャル 90+ 飲み頃予想 2016~2033

ノーマルなN・S・Gに比べて明らかにきれいな土の香りが増える。そして優しさとイキイキさの両面を持った香りは、赤黒果実と大地香とミネラルがしっかりのいい香り。口に含むとこれは果実がかなり開いているので甘いとすら感じるもの。そして13年の酸が下支えしており、この段階で既に調和がとれている。やはりイキイキとして輪郭がハッキリとし、味つきもとても良い。凝縮感こそないが、見事にブルゴーニュしたワインだ。13年って、やっぱ実にいいヴィンテージだと再認識。(15年06月試飲)